令和２年度 「第２回　いじめの把握のためのアンケート調査（１１月末）」

～　七飯町内各校の報告数の集約概要　～

１　「４月から今日まで、嫌な思いをしたことがあるか。」（回答児童：1334名、回答生徒：635名）

「ある」　小学校　・・・・今年度286件（ 21％）　昨年度326件（ 24％）

　　　　　　　　　中学校　・・・・今年度 21件（ 3％）　昨年度 33件（ 5％）

％

＜考察＞　昨年度と比較すると、小学校・中学校共に２～３％減少している。今後も継続した気配り・目配りが望まれるが、家庭や関係機関と連携した学校の指導や対応で重大事態に至っていない状況にある。

２　１で「ある」の場合、「どんなことをされたか。」　　 　（回答児童：286名、回答生徒：21名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜小学校＞ 　　＜中学校＞

　　　　　ア、冷やかしやからかい、悪口を言われる　　 134人(47％)　　11人(52％)

　　　　　イ、仲間はずれ、無視される　　　　　　　　　83人(29％)　　 3人(14％)

　　　　　ウ、軽くぶつかる、遊んだふりで叩かれる　　　78人(27％)　　 3人(14％)

　　　　　エ、ひどくぶつかる、叩かれる、蹴られる　　　53人(19％)　　 0人( 0％)

　　　　　オ、お金や物を隠される、いたずらされる　 　 21人( 7％)　 2人(10％)

　　　　　カ、恥ずかしいこと、危険なことをされる　　 18人( 6％)　 4人(19％)

　　　　　キ、メールやＳＮＳ等で悪口を書かれたり　　　 6人( 2％)　 　0人( 0％)

仲間はずれにされる

　　　　　ク、その他 47人(16％)　 6人(29％)

％

＜考察＞　選択肢の変更により昨年度と簡単な比較はできないが、「冷やかし、からかい、悪口」「仲間はずれ、無視」や「軽くぶつかる、遊んだふりで叩く」で嫌な思いをする子どもが多い。一方、「メールやＳＮＳ等を使用した誹謗中傷」はさほど多くなく、限定的である。

３　１で「ある」の場合、「今も嫌な思いをしている。」　　（回答児童：286名、回答生徒：21名）

小学校　・・・今年度33 ％（95件未解決） 昨年度45％（147件未解決）

　　　　　　中学校　・・・今年度24％ （ 5件未解決） 昨年度56％（ 18件未解決）

％

＜考察＞　昨年度と比較すると、小学校・中学校ともに「今も嫌な思いをしている子ども」は大幅に減少しているが、３割前後の子どもは依然問題が解消されていないため、子どもの声に耳を傾け、具体的に対応する必要がある。

４　「嫌な思いをした時には、誰に相談するか。」　　　　（回答児童：1334名、回答生徒：635名）

　　　　＜小学校＞　　＜中学校＞

　　　　　　ア、学校の先生　　　　　　　　　　　　　　　57％　　　　　39％

　　　　　　イ、スクールカウンセラー　　　　　　　　　　 1％　　　　　 2％

　　　　　　ウ、友人　　　　　　　　　　　　　　　　　　45％　　　　　63％

　　　　　　エ、父や母　　　　　　　　　　　　　　　　　76％　　　　　56％

　　　　　　オ、兄弟姉妹　　　　　　　　　　　　　　　　24％　　　　　20％

　　　　　　カ、電話相談　　　　　　　　　　　　　　　　 4％　　　　　 4％

　　　　　　キ、メールやＳＮＳの相談窓口　　　　　　　　 1％ 2％

　　　　　　ク、誰とも相談しない　　　　　　　　　　 　 9％ 14％

　　　　　　ケ、その他　　　　　　　　　　　　　　　　 　5％ 2％

＜考察＞　相談相手は小学校が「父母→先生→友人」、中学校が「友人→父母→先生」の順となっていて、割合は昨年度とさほど変わっていない。また、「誰にも相談しない」子どもは小学校で１％増加、中学校では２％減少している。他人に相談しづらい発達段階にあると思われるが、増加傾向に歯止めがかかっている。

％

５　「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある。」

（回答児童：1334 名、回答生徒：635名）

小学校　・・・・・・今年度 22％（287件） 昨年度 22％（296件）

　　　　　　中学校　・・・・・・今年度 6％（ 39件） 昨年度 6％（ 38件）

％

＜考察＞　「嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりした」割合は、小学校・中学校共に設問１と大きな差異は見られない。従って、設問１での数値は概ね現状を捉えていると思われる。

６　「子ども相談支援センター電話紹介カードを知っているか。」

（回答児童：1334名、回答生徒：635名）

小学校 　・・・・・・今年度 89％（1184人）　昨年度 89％（1215人）

　　　　　　中学校　 ・・・・・・今年度 96％（ 610人）　昨年度 94％（ 595人）

％

＜考察＞　昨年度と比較すると、「子ども相談支援センター電話紹介カード」は児童生徒に十分周知されてきている。小学校で「知らない」と答えた１１％の児童のうち、７３％は１・２・３年生が占めている。

７　「いじめはどんなことがあっても許されないことだと思うか。」

（回答児童：1334名、回答生徒：635名）

＜小学校＞　　＜中学校＞

　　　　　　ア、そう思う　　　　　　　　　　　　　　　　94％　　　　 84％

　　　　　　イ、そう思わない　　　　　　　　　　　　　　 2％ 4％

　　　　　　ウ、よくわからない　　　　　　　　　　　　　 4％　　　　 12％

　＜考察＞　 昨年度と比較すると、「そう思う」は小学校で横ばい、中学校で４％増加していて、殆どの子どもは正常な認識を有している。「そう思わない」は小学校・中学校共に昨年度同様であり、今後も限りなく０％へ近づける指導が望まれる。